

技術番号
170

ブース番号
I-1

EPR工法

維持管理（上下水道）
安心 環境 コスト 品質

技術番号
170
ブース番号
I-1

EPR工法協会



EPR工法 エアーマールド型 管径1500mm

老朽化した道路横断管・下水道管きよ等を 非開削で内面より更生する技術。

EPR工法は、クラック、浸入水等老朽化した道路横断管・下水道管きよ等を非開削で更生する技術です。ガラス繊維に常温硬化性樹脂を含浸させたライニング材を施工箇所に被覆・硬化させることにより、機能が低下した管路の強度および水密性を回復させます。適用範囲は管径100mm～2000mmを標準規格とし、円形管の他にボックスカルバート・アーチカルバート等の非円形管にも対応します。コンパクトな補修機材で施工が可能のため騒音発生、道路交通への影響を最小限に抑えることが可能です。またスチレン等悪臭の原因となる溶剤を含まない樹脂を使用することにより、臭気問題が発生しません。

施工実績 210,000 箇所（東北地区 33,000 箇所）

●部署：EPR工法協会 事務局
●URL：http://www.epr-koho.com/

●TEL：03-3626-7298 ●FAX：03-3623-7377
●営業時間：9:00～17:00

担当者：家寿元久 坂田義彦

技術番号
181

ブース番号
I-2

管きよ更生・補修システム

維持管理（上下水道）
環境

技術番号
181
ブース番号
I-2



7つの工法が管きよを甦らせる 世界最先端技術による管きよ更生・補修システム ー施工実績550kmを突破ー

オールライナー工法は、下水道の先進国であるドイツのカナル・ミュラー社により開発された管きよ更生技術であり、既にドイツ本国のほか、ヨーロッパ各国、アメリカ、オーストラリアに普及しており、1991年に日本に導入され、日本の風土等に合わせ「地球に優しく・早く・誰でも・確実に」を合言葉として、開発を進めてきました。オールライナー協会は、1995年に設立され現在、全ての管きよのあらゆる箇所を改築・修繕できる7つの工法を保有し、下水道に限らず農業用水路、工業用水路、各種内圧管路等に対応できる技術を完備しています。

施工実績 3,091m

●部署：オールライナー協会
●URL：http://www.all-liner.jp/

●TEL：03-3599-5278 ●FAX：03-3599-5283
●営業時間：8:30～17:30

担当者：

技術番号
278

ブース番号
I-3

下水道管路の維持補修技術に関する各種工法等の紹介

維持管理（下水道）
安心 環境 コスト 品質

技術番号
278
ブース番号
I-3

社団法人 日本下水道管路管理業協会東北支部

豊富な経験と信頼で結ばれた、下水道管路の維持管理集団 私たちは、あなたの街の下水道を守る『管路ドクター』です！

ライフサイクルコストを軽減する下水道管路の計画的な管理
～未永く大切に使う時代へ～

1. 計画的な維持・管理を推進し、陥没や事故などの削減を目指します。
2. 管路管理の業務の質を高めます。
3. 事故の無い、環境にやさしい安全な業務を目指します。

●部署：〒025-0312 岩手県花巻市二枚橋第5地割474-3 ●TEL：0198-30-1377 ●FAX：0198-30-1000
(社)日本下水道管路管理業協会東北支部 ●営業時間：8:00～17:00

担当者：高橋 富士夫

技術番号
168

ブース番号
I-4

ダンビー工法

維持管理（上下水道）
環境

技術番号
168
ブース番号
I-4

EX・ダンビー協会



非開削で老朽化した既設管内に塩ビ製管路を形成し 地震時の変位・屈曲などを吸収する管路更生工法。

・ダンビー工法・・・塩ビ製の帯板（ストリップ）を既設管の内側に密着させながら嵌合用接合部材（ジョイナー）を使ってスパイラル状に製管し、その隙間に高流動、高強度の充填材を注入。断面縮小を最小限に抑えた複合管を形成する大口徑管更生工法。

●部署：EX・ダンビー協会 東北支部
●URL：http://www.ex-danby.jp/

●TEL：022-267-8977 ●FAX：022-267-8977
●営業時間：8:30～17:00

担当者：三浦 啓介

EX・ダンビー協会



**非開削で老朽化した既設管内に塩ビ製管路を形成し
 地震時の変位・屈曲などを吸収する管路更生工法。**

・EX工法……塩ビ樹脂をベースとするEXパイプを、非開削で既設管内へ挿入し、元の円形状に戻して圧着させることで、優れた強度と品質を備えた連続パイプを生み出す小口径更生工法です。

●部署：EX・ダンビー協会 東北支部
 ●URL：http://www.ex-danby.jp/

●TEL：022-267-8977 ●FAX：022-267-8977
 ●営業時間：8:30～17:00

担当者：三浦 啓介

技術番号 200 プース番号 i-7
GM ラウンド工法

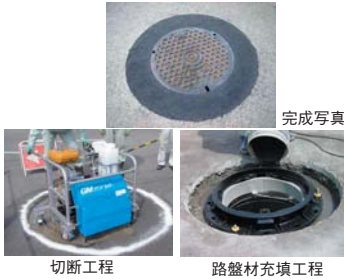
(株)グラウンド デザイン研究所



マンホール鉄蓋専用取替工法

安全基準に満たない老朽化した危険なマンホール蓋を、高品質、低コスト、短時間に取り替えられる専用工法

近年、下水道は全国的に高普及率となり、建設から維持管理・更新の時代へと移行しています。マンホール鉄蓋についても、年数過多で老朽化や旧式のものが増え、現在の安全基準に満たない危険なものが増え、より安全・安心なマンホール鉄蓋への取替えが必要とされています。GM ラウンド工法は、マンホール鉄蓋の取替を、簡単で効率的に、仕上り良く、誰でも行なえるマンホール鉄蓋専用取替工法です。GM ラウンドカッターは、構造・操作ともシンプル・コンパクトであり、狭い作業スペースで簡単に短時間に切断できます。また、専用の路盤材・舗装材は、耐久性に優れ、養生時間も短く、1時間以内に道路開放できる材料です。



完成写真

切断工程

路盤材充填工程

施工実績 ①秋田県…秋田市、にかほ市 ②岩手県…矢巾町 ③宮城県…仙台市、北上川流域下水、大崎広域水道、大崎市、登米市、気仙沼市 ④山形県…山形市、最上川流域下水、酒田市 ⑤福島県…福島市、郡山市、いわき市、会津若松市 他

●部署：株式会社 グラウンドデザイン研究所

●TEL：092-415-2667 ●FAX：092-415-2668
 ●営業時間：9:00～18:00

担当者：日高義和